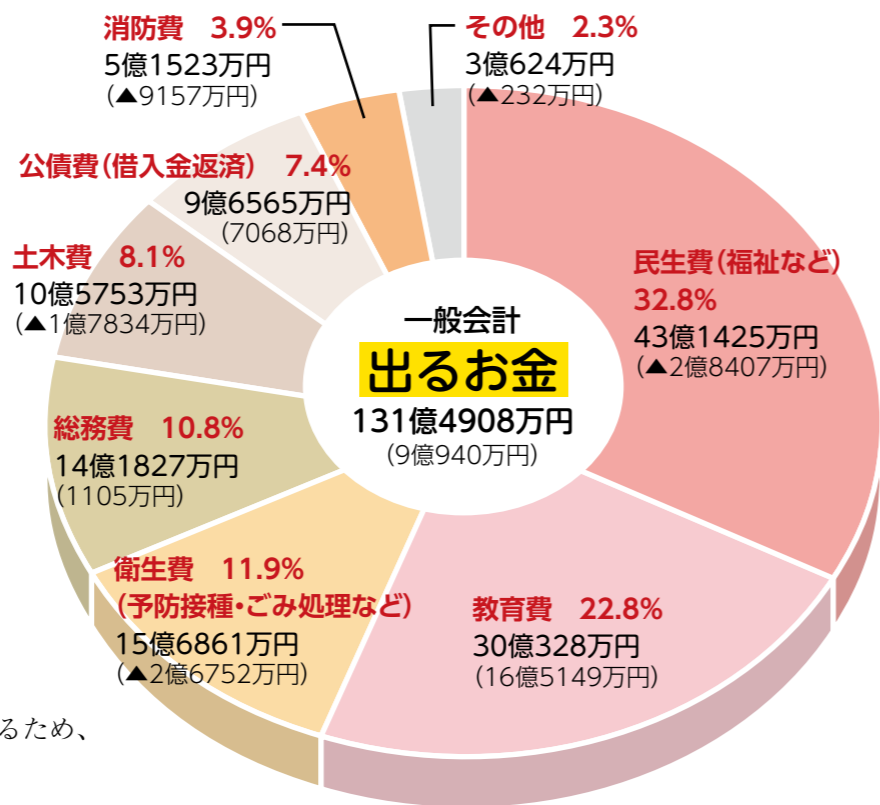


# 議会で厳正にチェック

## 一般会計131億4908万円

歳出



### グラフの見方

上段：科目、総額に占める割合  
中段：予算額  
下段：対前年度増減

※各項目で1万円未満を切り捨てているため、合計が合わない場合があります。  
▲はマイナス

**令和3年度一般会計予算**  
平成25年にごみ広域処理施設の建設地が高砂市に決定した。中継施設建設の住民への周知は令和2年である。その間、住民の意見を聞くパブリックコメントなどを実施しなかった。また、行財政改革を進めるため、収集を担う正規職員の退職を見据え、民間委託を検討すべきと考え反対します。

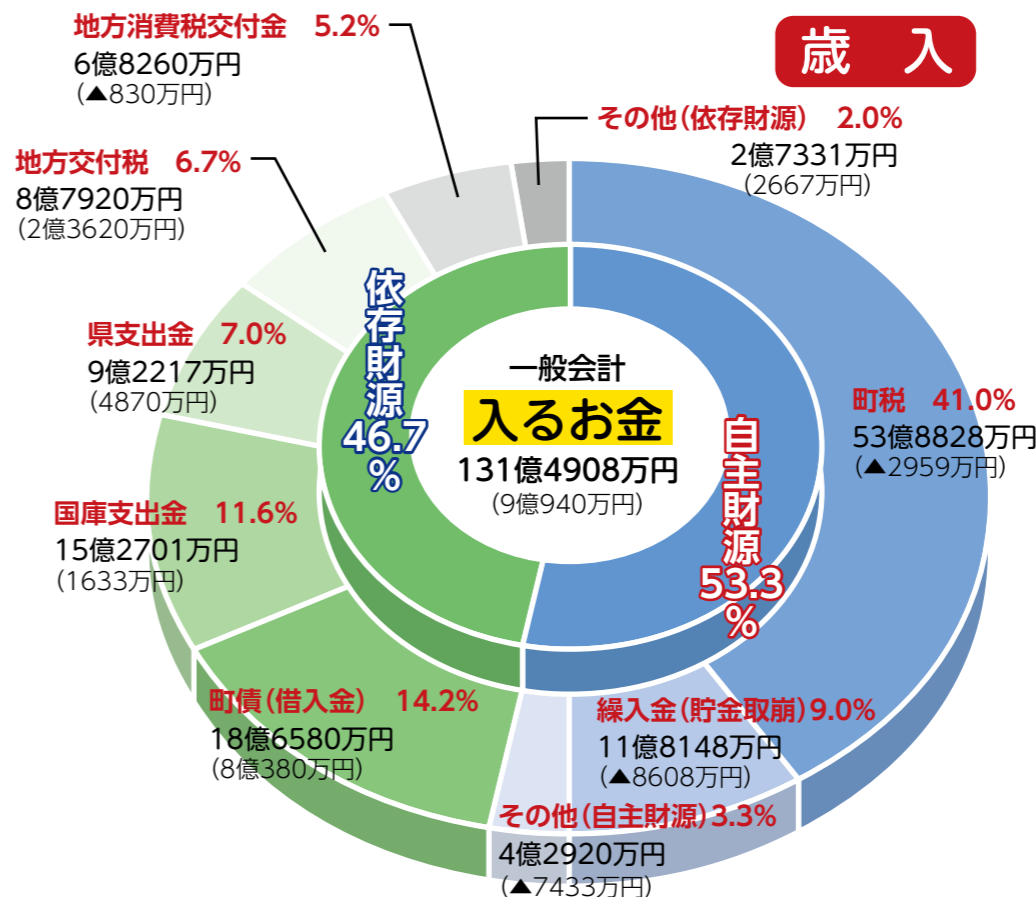
**後期高齢者医療事業 特別会計**  
令和4年度から75歳以上の後期高齢者の窓口負担を、単身世帯で年収200万円以上の人を対象に、現行の1割負担から2割に引き上げることが閣議決定されました。激変緩和措置を設けることですが、高齢者にとっては厳しい状況になることから反対します。

# 令和3年度予算

可決

## 総額242億8932万円

歳入



令和3年度予算特別委員会は3月10日から16日までの5日間開かれました。議長を除く13名の委員で集中審査を行い、厳正にチェックしました。その結果全ての予算を原案どおり可決しました。

一般会計予算は、前年度より9億940万円、7.4%の増となりました。

歳入の主要財源である町税は、歳入全体の41.0%を占めています。新型コロナウイルス感染症の影響などにより、前年度と比べ0.5%の減となっています。国から財源調整で配分される地方交付税は、前年度より36.7%の大幅な増を見込んでいます。国庫支出金は、学校施設環境改善交付金の増額が見込まれ、1.1%の増となっています。県支出金は選挙費の委託金、教育・保育給付費負担金などで、5.6%の増となっています。町債は75.7%の大幅な増となっています。学校施設の大規模改造や学校給食施設整備に係る町債の発行が主な要因です。

### 令和3年度当初予算額

区分	予算額	対前年度比	
一般会計	131億4908万円	7.4%	
特別会計	国民健康保険事業	34億6773万円	0.4%
	財産区	13億2620万円	▲1.5%
	介護保険事業	29億2446万円	4.0%
	後期高齢者医療事業	4億8931万円	3.0%
	特別会計の計	82億771万円	1.5%
水道事業会計	12億9154万円	23.0%	
下水道事業会計	16億4097万円	▲4.6%	
総額	242億8932万円	5.2%	